

# Weekly Report



ロータリー:  
変化をもたらす

2017～2018年度  
国際ロータリーのテーマ  
ロータリー:変化をもたらす  
(ROTARY:MAKING A  
DIFFERENCE)

2017～2018年度  
名古屋瑞穂ロータリー  
クラブ会長のテーマ  
ロータリーの品格を高めよう!

創 立:1980年(昭和55年)1月10日  
会 長:稲葉 徹  
幹 事:大嶽 達郎  
クラブ広報委員長:鈴木 健司  
例 会 日:毎週木曜日 PM12:30~  
会 場:ビルドン名古屋

事 務 局:460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F  
T E L:052-211-3803  
F A X:052-211-2623  
M A I L:2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
U R L:http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1829回例会

～母子の健康月間～  
クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2018年4月19日(木) 晴れ 第37回

司 会:鈴木淑久会場委員長  
斉 唱:「四つのテスト」「それでこそロータリー」  
ビ ジ タ ー:東海RC 小嶋洋一さん

### 会長挨拶

稲葉徹会長

皆さん、こんにちは。本日はこの時期4月20日前後は二十四節気の一つ「穀雨」です。穀雨とは、たくさんの穀物をうるおす春の雨が降る頃のことです。この季節の終わりには、夏のはじまりを告げる八十八夜が訪れます。「穀雨」とは、田畑の準備が整い、それに合わせて穀物の成長を助ける雨が降る様子のことで花が散り、過ぎゆく春を惜しむ頃で細かな春雨が降る日が多くなります。



この時期のことばで有名なものが「春眠暁を覚えず」があります。このことばは「朝が暖かくなり、つい寝坊をしてしまった」という意味で使われますが、本当はちょっと違っているようです。もともとは昔の中国、唐の時代の孟浩然という詩人が書いた詩の一節で「夜明けが早く、いつのまにか朝が訪れるなんて、つくづく春だなあ」の意味のようです。長い冬を越え、朝の訪れが早まる春、めざめると鳥が鳴き、日が降り注ぐ、陽気に包まれた季節のよこごびに満ちています。

この時期の旬の食材としては、筍、わらび、たらの芽、ウニ、桜えび、アサリ等々春のかおりが満さいの食物です。私がこの季節に食したいものの一つに「若竹煮」があります。旬の筍とわかめの出合った物です。筍は、追いがつおとさし昆布をして炊いて(煮て)だしのうまみがたっぷりと筍にふくませたものに、旬の柔らかいわかめを炊いて添えてあるのがおいしいものです。

この他にも「鰻」がおいしくなる時期です。鰻の字の「参」の文字は旧暦三月(いまの4月末から5月)が旬ですから、春から夏の時期が旬の魚です。鰻の開きも朝食の定番でおいしいですが、「たたき」は私が好物の一つです。たたきが広まったのは伊豆といわれておりますが、たたきのはじまりは、漁師が船でとれた鰻のはらわたを取り、みそを混ぜて簡単な料理が「沖なます」といわれております。お酒と一緒に「真鯛のなめろう」なんていうのは本当に至福の一品です。今夜は筍の若竹煮と鰻のなめろうで一杯やりたいものです。

### 出席報告

中野健二出席委員

会員64名 出席44名 (出席計算人数46名)

出席率 83.0% 4月8日は補填により86.3%

### ニコボックス

中野健二ニコボックス委員

・先週、鈴木淑久さんにお世話になりました。月曜日は内田さんと堀さんにお世話になりました。4/28は、33回目の結婚記念日です。

関谷 俊征さん

・気温も一段と暖かくなり、スポーツにとって良い季節となりました。野球部もそろそろ練習を組んでいきますので、皆様、よろしくお祈りします。

鈴木 淑久さん

・新入社員も次第に会社に慣じんできました。初々しいです。

森 裕之さん

・妻の誕生日に素晴らしいお花をお贈りいただき、ありがとうございました。

村瀬 俊高さん

・又々バッジを忘れましたので!

高村 博三さん

### 幹事報告

大嶽達郎幹事

・本日4月19日13時40分から新旧CA・新旧理事会をヒルトン名古屋4F「樺の間」にて行います。

・本日18時から亀井さん還暦お祝い会を蓬莱軒本店にて行います。

### 卓話者紹介

平野好道さん

こんにちは。今日は松田さんに来ていただいてお話を聞かせていただきます。松田さんは名古屋大学法学部卒業で私の後輩です。愛知県にお勤めになって、愛知芸術文化センターで15年、3年前から愛知県芸術劇場企画制作部長としてお仕事をされています。名古屋瑞穂RCで音楽関係の高校生とか大学生にオペラを見ていただくということで、名古屋瑞穂RCでお金を出して招待するというプログラムがありましたが、その際にも松田さんにお世話になりまして、チケットの手配等をしていただきました。今日は宜しくお祈りします。

### 卓話

愛知県芸術劇場企画制作部長 松田敦さん

### 愛知県芸術劇場の取り組み

愛知県芸術劇場企画制作部長の松田です。本日はこのような場をいただきありがとうございます。また、昨年のオペラ「ばらの騎士」では愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、明和高校、菊里高校5名の音楽を専攻する学生たちをご招待いただきました。ありがとうございます。学生たちも生の舞台を観てとても感激していました。今後も音楽家の卵の皆さんを支援していただければと思います。



さて、今日のお話は大きく2つあります。前半は、愛知県芸術劇場の取り組み。後半がオペラの楽しみ方です。愛知県芸術劇場は平成26年度に指定管理者制度を導入し、組織、サービス、事業内容の改革・改善を実施しました。以前は、県の直営ということもあり、杓子定規的な対応で評判がよくなかったのですが、指定管理者制度導入後は、利用者からも高く評価されるようになり、今年度、文化庁から全国16のトップレベルの



劇場に選定されました。

愛知県芸術劇場のある愛知芸術文化センターは美術館と劇場、文化情報センターから成る複合文化施設です。劇場と美術館が一緒になった大規模な複合文化施設は、全国的にも、世界的にも大変珍しいものです。

大ホールは2500席の定員です。オペラやバレエに適しており、3面舞台になっています。舞台と同じ大きさの舞台が奥と横にあり、スライドできるので、オペラの場合、幕ごとに違った舞台を作り、転換ができます。新国立劇場よりも先に出来たので、当時「日本初のオペラハウス」と言われました。コンサートホールは1800席。クラシック音楽の専用ホールで、世界中のアーティストから高い評価を受けています。残響時間は満席時約2.1秒。国内最大級のオルガンもあります。小ホールは282席。ブラックボックスで実験的な演劇やダンスなどに適しています。ホールの利用率は85%前後で、ほぼ満杯の状況です。なお、現在大ホールとコンサートホールは改修休館中、小ホールのみ稼働しています。

自主事業では、鑑賞事業、普及啓発事業、人材養成事業を行っています。鑑賞事業の核となるラインナップは先駆的・実験的なダンスやオペラ、オルガンです。先駆的・実験的な分野は民間の事業者が手を出さないで、公共の劇場として積極的に取り組んでいます。映像でご覧になっているのは、昨年のおペラ「ばらの騎士」で、イギリスのグランドボーン音楽祭の豪華な舞台と日本を代表する素敵な歌手たちによる公演でした。このほか、市町村の劇場との連携や将来を担うこどもたちへの普及啓発にも力を入れています。「劇場とこども7万人プロジェクト」は、愛知県内の小学生は1学年あたり約7万人いますので、7万人を劇場に招待しようというものです。愛知県芸術劇場だけでなく、市町村の劇場と一緒に一度は劇場に足を運んでもらおうというものです。

次にオペラのお話です。オペラは17世紀初頭にフィレンチェで誕生しました。日本でも歌舞伎が同時期に誕生しています。両方とも総合芸術ですね。PAを使わない歌、合唱、オーケストラ、舞台美術、照明など舞台のあらゆる要素が含まれています。舞台芸術の中で、もっとも豪華で贅沢なものはおペラですね。ミュージカルやおペレッタもおペラから派生したものです。オペラって敷居が高い、高級なイメージがありますが、実際は大衆芸能。テーマは愛、嫉妬、憎悪、裏切り、親子間の対立などなど週刊誌的な内容も多いのです。

オペラ劇場は都市のブランド、魅力の一部になっています。パリ・オペラ座、ミラノ・スカラ座、メトロポリタン歌劇場、ウイーン国立歌劇場など有名ですね。また、中小都市にもオペラ劇場があります。

オペラの制作経費はいくらかかるとお思いますか？なんと、1作品で1億円もかかるのです！なんでそんなに高いのか、その理由は、一つは、オペラに関わる人がとても多いこと。指揮者、歌手、合唱。オーケストラ、バレエ、演出家、舞台スタッフなど総勢300人～400人にもなります。二つ目の理由は、稽古、制作に数か月を要すること。音楽稽古は3月前から、立ち稽古は2月前から、舞台稽古、本番へとつながっていきます。

もちろん、経費節減の努力はいろいろ行っています。共同制作という、国内他館と一緒に制作する方法で、制作経費を分担することができます。また、企業等からのファンドレイジングの努力もしています。近年はオペラ観客層が高齢化して、新しい観客層が育っていないという課題がありますので、あの手、この手で広報・営業活動をがんばっています。

オペラ経費の財源は、だいたい、入場料収入が約3割、国の助成金が約3割、県の指定管理料が約4割です。他の国でも入場料収入だけではやっていけないという現状です。

オペラ公演の最大のリスクは、出演者がけがや病気などで降板してしまうことです。公演中止は払い戻しをしないといけないので、何とか役役を確保したり、カバー役（主役はカバーの歌手がついていることが多い。）をお願いすることになります。このほかにも、舞台はなまものなので、いろいろなハプニングがつきものですね。

ここで、オペラの楽しみ方を紹介しましょう。あらかじめ、CDやDVDなどでストーリーなど予習をしておくとお楽しめるでしょう。字幕も出ますが、あらすじを頭に入れておけば、字幕を追わなくても舞台に集中することができます。

オペラは、上演時間が長くて疲れるという声も聞かれますが、日常の喧騒を忘れ、ゆったりとした気持ちで観劇したいですね。疲れたら途中で眠ってもよいです。私も眠くなることもあります。回りも眠っている人も見かけますが、見所、聴き所を逃さないようにしたいですね。

何を着ていっていいかわからないという質問も聞きます。ドレスコードは特にありません。普段着でも十分ですが、折角の機会なのでおしゃれをしていくとよいですね。オペラグラスは会場でレンタルがあることが多いので、3階以上の席であると便利と思います。席は舞台全体が見渡せる1階後方、2階、3階前がよいでしょう。

次に、入門にお勧めのオペラを紹介しましょう。

- ①モーツァルト「魔笛」
- ②ヴェルディ「椿姫」
- ③プッチーニ「ラ・ボエーム」
- ④ビゼー「カルメン」
- ⑤レハール「メリー・ウイドウ」

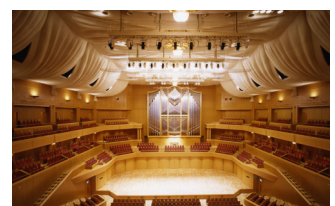
などが楽しめるでしょう。ワーグナーは初心者にはNGですね。5時間くらいかかるのもあり、初めて観るとオペラが嫌いになってしまう人もおられるかもしれません。

愛知県芸術劇場では、今年度は大ホールが改修休館なので、小ホールで小さなオペラを上演します。モーツァルトの『バステアンとバステイエンヌ』です。モーツァルトが12歳で作曲したオペラで、牧歌的な若い男女の恋物語です。11月16日、17日に上演しますので、ぜひお越しください。

最後になりましたが、劇場は、お客様に感動や夢、喜び、生きる希望を与える場です。ぜひ、劇場に足を運んでください。鍛えられたアーティストたちによる生の舞台は、テレビや録音とは異なる大きな感動を与えます。劇場は地域の魅力の一つです。劇場が愛知県民の誇りとなる存在となるため、ぜひとも応援をお願いします。また、将来のアーティストの育成のため、音楽家の卵である音楽学生の招待も継続していきたいと思っています。ぜひご支援をお願いします。どうもありがとうございました。



愛知芸術文化センター外観



コンサートホール



大ホール



オペラ「ばらの騎士」(c) 中川幸作

## 例会のご案内

- 今週の卓話 4月26日(木)  
テマ：何故、日本の医療費は増え続けるのか？  
卓話者：エムスリードクターサポート(株)  
代表取締役社長 濱口慶太さん
- 次週 5月3日(木) 法定休日により休会
- 次々週卓話 5月10日(木) 新会員インニケーションスピーチ  
会員卓話：牧野智繁さん